



シャインパール

WORLD. RICE

速報

No.6

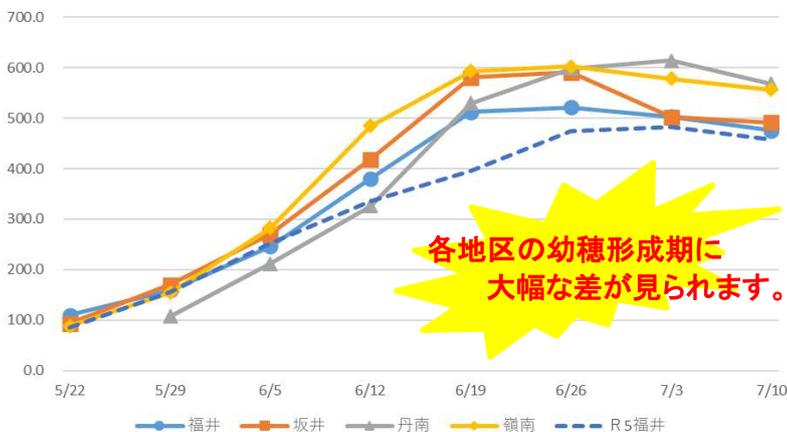


JA福井県

6月22日の梅雨入り以降、気温は高く推移していますが晴れ間が少なく7月入ってからの、日照時間は平年と比べ5時間程度少なくなっています。県域で作見会も実施し、現地を確認したところ生育の早い圃場では穂ばらみとなり出穂期を迎えてようとしています。幼穂形成期を迎えてる圃場も多く、今後は中干しを終了し間断通水をはじめましょう。また五月半ば移植・直播の圃場では幼穂を確認してから、間断通水を行い適切な水管理を行いましょう。

1. JA生育調査状況 (7月10日現在)

シャインパール茎数 (本/m²)



各地区の幼穂形成期に
大幅な差が見られます。

生育が早い圃場の幼穂長

4月27日植え
幼穂長 10mm



4月22日植え
穂ばらみ

穂長 24cm



2. シャインパール栽培管理のポイント!

●いもち病対策

◆ シャインパールは、コシヒカリ並みにいもち病に弱い
ため、育苗箱にパダン粒剤など単剤を散布している
場合は、こまめに圃場を観察しましょう!

◆ 葉色が濃く、葉が垂れて条間が見えないような生育が旺盛な圃場は、通常の圃場に比べ発生率が高まります。発生を確認したら、直ちに防除を行いましょう!



●穂肥散布

◆ 基肥一括施肥栽培で、幼穂形成期から10日経過しても葉色が淡いときは、穂肥の散布を行いましょう!



7月10日が幼穂形成期の場合
7月20日頃の葉色と生育量を見て穂肥の散布をしましょう!

3. 農作業中の熱中症に注意しましょう!

～ 熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます ～

暑さに体が慣れていないこの時期に、農作業中の熱中症事故が多発しています。

熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。

① 暑さを避ける

② 適度な水分補給

③ 無理な運動はしない

